

資料 3

議事

(2) 報告事項について

イ 文化センター外壁工事の概要について

文化センター外壁工事の概要について(報告)

1 施設概要

文化センターは、昭和61年の開館以来、文化団体、老人会、各種団体など世代を超えて多くの町民の方に利用されるとともに、かんなみ学びの杜講座などの広く町民を対象とする生涯学習事業を年間通して実施し、文化活動の核となる施設である。

一方で、文化センターは建築後39年以上が経過しており老朽化が進行している。老朽化対策については、被害の出ている箇所を優先して対応することとしているが、あわせて施設の長寿命化も念頭に置き、予防保全による整備を進めていく必要がある。また、本町の財政運営にも大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、施設の老朽化対策に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図ることが求められている。

今後、施設整備に係る中長期的なスケジュールや費用を把握し、函南町公共施設個別施設計画に基づく目標使用年数を目指し「函南町公共施設等総合管理計画庁内推進委員会」の検討結果を踏まえながら計画的な保全を進めていく。

2 工事概要

- (1) 工事名 文化センター外壁改修工事
- (2) 契約金額 33,880,000円
- (3) 工期 令和7年5月28日から令和7年10月29日まで
- (4) 請負業者 小野建設株式会社
- (5) 工事進捗率 令和7年7月末時点工事進捗率 30%
- (6) 補助金 地震・津波対策等減災交付金（事業費の1/3以内）
- (7) 工事内容 仮設工・外壁改修工 989.0m² 塗装工 1式

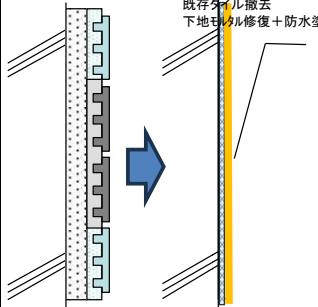
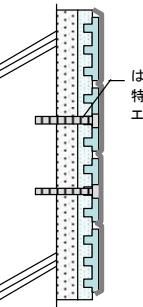
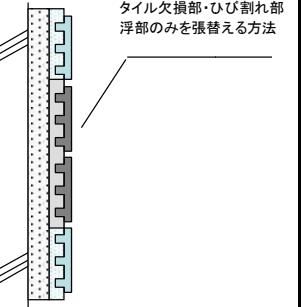
3 工法選定について

工法の比較検討の結果、メンテナンス・施工性・費用面の優位性から、外壁タイルはく落防止透明塗装工法を採用。この工法は、1m²あたり4本から6本のアンカーピンを打ち込んだ後、ウレアウレタン樹脂を使用した強靭な塗膜によりタイルのはく落を防止する。

塗膜の透明性が高く、既存タイルの意匠性を確保できるほか、既存タイル撤去の必要がなく、廃棄物処分に係る費用・時間を短縮することができる。

外壁改修工事 工法比較検討表

設定条件：RC造、モルタル塗り、タイル貼り仕上げ（モルタル貼付け）

		タイル撤去のうえモルタル修正+塗装工法	外壁タイルはく落防止透明塗装工法	タイル部分張替工法
工法	概要			
	剥落対策効果	タイル陶片落下の予防 ◎管理の必要が大幅減少	特殊アンカービン4~6本/m ² +透明塗装 ○管理の必要が減少	減少する ×管理が大幅に増加
	保証	×	○ 10年保証	×
騒音、粉塵		× × × 撤去中、騒音・振動・粉塵 大 アスベストが検出される可能性有	◎ 穿孔に無振動コアドリル・粉塵なし	× × × 撤去中、騒音・振動・粉塵 大 アスベストが検出される可能性有
工事中の施設供用		× 撤去時、振動粉塵により労働環境悪化	○ 全工程にわたり使用可	× 撤去時、振動粉塵により労働環境悪化
工期		撤去期間(騒音・粉塵) 1.0月 全工程 4~5月	撤去期間(騒音・粉塵) なし 全工程2~3月	撤去期間(騒音・粉塵) 1.0月 全工程1~2月
意匠性		× × タイル撤去のため意匠性維持できない	○ 全面透明樹脂塗装で意匠性維持	△ 張替部分が目立つ
【コスト】		1,000m ² あたり タイル・モルタル撤去 12,000円/m ² 下地調整モルタル塗布 9,000円/m ² タイル目地埋め 該当なし 塗装 4,000円/m ² タイル処分費 5,000円/m ³ アンカービン施工 該当なし タイル張替 該当なし 計 30,000円/m ²	1,000m ² あたり 該当なし —円/m ² 該当なし —円/m ² 4,500円/m ² 12,500円/m ² 該当なし —円/m ² 2,500円/m ² 該当なし —円/m ² 19,000円/m ²	1,000m ² あたり 12,000円/m ² 該当なし —円/m ² 該当なし —円/m ² 該当なし —円/m ² 該当なし —円/m ² 10,000円/m ² 27,000円/m ²
総合評価		・既存のタイル、モルタルを撤去するため、タイルの剥落等の危険はなくなり管理の負担が大幅に減少する。 ・意匠の外観の維持が難しく、タイルの重厚感もなくなる。 ・撤去の際に大きな機械は使えず、チッパーを使い作業員を多数配置する必要がある。 ・撤去工事の間、振動・騒音・粉塵が発生し施設の供用、事務室の使用は不可となる。 ・ハシリ殻の産廃処理40~60m ³ (厚み40~60mmとして)程発生する。撤去後はモルタル下地調整・塗装まで全体工期は4~5月間を要す。 ・撤去した際、アスベストが検出された際、処分費が別途かかる	・特殊アンカービンおよび透明樹脂を使用することにより、意匠性に大きな変更なく剥落対策を行える。 ・ハシリ殻等の廃棄物や処分費も発生しない。 ・施工中の騒音・振動が極めて少なく、施設の供用にも影響がない。 ・タイルモルタル撤去工法に比べ工程数が少ないため工期は2~3ヶ月間で終了する。	・部分補修であるため、補修外部分のタイル落下防止等予防保全が不可。 ・撤去の際に大きな機械は使えず、チッパーを使い作業員を多数配置する必要がある。 ・撤去した際、アスベストが検出された際、処分費が別途かかる ・定期的なメンテナンスが必要となる。
総評		△	○	×

